

2017年度ルール説明

2017年4月16日
平塚市テニス協会

内容

1. テニスルール
2. 2017年ルール変更点
3. こんな時あなたはどのようにしますか？
 - ルールを知っていれば自信を持ってプレーできます！

1. テニスルール



JTA テニスルールブック2017

第1部 テニスルール

規則1～31、試合中に起こるケースの判断、セルフジャッジの方法 など

第2部 JTA公式トーナメント管理規程

公式大会、ベテラン大会の大会運営の規則

第3部 JTA公式トーナメント 競技規則

大会の進行方法、メディカルルール、トイレットブレイク など

第4部 JTA公式トーナメント コードオブコンダクト

エントリー方法、服装、倫理違反などの規則

第5部 ランキング規程

JOPランキング、JOPベテランランキング

第6部 コートオフィシャルの手引き

大会役員（レフェリー、アンパイア）の役割

第7部 登録規程

第1部、3部、4部を
読んでおけば、あなたは
ルール通（100ページ）

2. 2017年ルール変更点

本資料のなかの **Pnn** は【JTAテニスルールブック2017】のページ番号を示しています。
本資料では要約したり、一部のみの説明になっていますので、必ず【JTAテニスルールブック2017】をお手元に置いてご覧ください。

2017年ルール変更点

- ◆ 規則1～31のルール自体には変更はありませんが、JTA公式トーナメントに出場する際の服装規程の変更にご注意ください。
(東京オリンピック2020のため国際テニス連盟(ITF)に準拠するように変更)
- ◆ JTA公式トーナメントを開催する場合には申込み期限変更、SE(スペシャル・イグザンプト)の適用範囲変更にご注意ください。
➢ 詳細な変更点を知りたい場合はお問合せ下さい。

JTA服装規定2017年度 女子

MK:メーカーロゴ
CM:コマーシャルロゴ

P134



JTA服装規定2017年度 男子

MK:メーカーロゴ
CM:コマーシャルロゴ

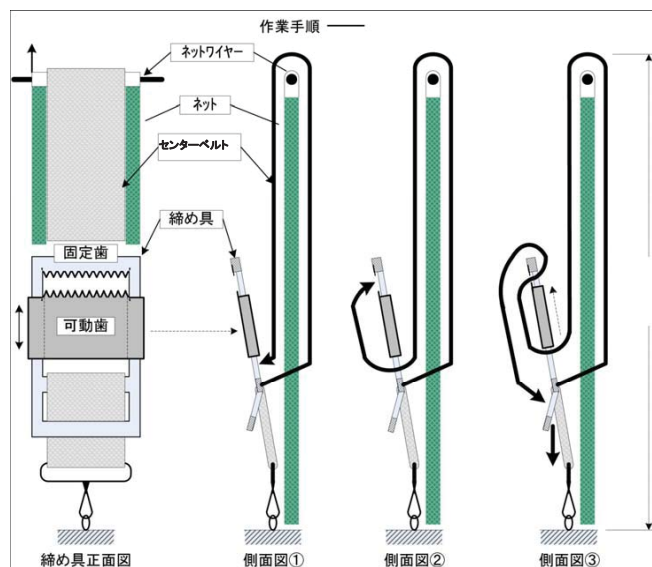
P134



3. こんな時あなたは どうしますか？

ルールを知っていれば
自信を持ってプレーできます！

センターストラップ



センターバンドの締め付けは、締め具の固定歯と可動歯の間を通してセンターバンドがネットワイヤーでネットを引き上げる時に生ずる上向きの力により、両歯の間で、ずれないように自己緊縛されることで強く固定されます。

作業手順
側面図①
センターバンドを締め具の裏側から可動歯下の①を通し表側へ出します。

側面図②
センターバンドを②の固定歯と可動歯の間を表側から裏側へ通し、ネットワイヤーでネットを引き上げて自己緊縛させます。
この作業時にネットの高さを調整します。

側面図③
調整済みのセンターバンド端を③に通します。

シングルススティックの立て方

P7

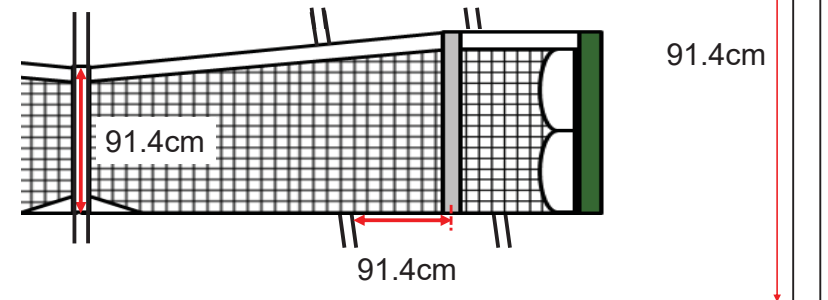
◆ 順番

① シングルススティックを立てる

- ・ シングルスサイドラインの外側からスティックの中心まで 91.4cm
- ・ シングルススティック上面の溝にワイヤを確実に入れる
- ・ ネットを挟んで反対側に立てる

② センターストラップの高さを測る

- ・ 91.4cm



知っておきたいルール

問 題	回 答
① トスに勝って「そちらが選んで」と言った相手に対して、いいえ、あなたが先に選んで、と言う事が出来る。	✗
② シングルススティックにあたって入ったサーブは、サービスのレットとしてやり直しになる。	✗
③ ノードと勘違いしてレシーブサイドを選びゲームになった、そのゲームは成立する。	○
④ サーブの順番を間違えてパートナーと変わる時、ファストサーブのフォルトは、引き継いで変わる。	○
⑤ エンドチェンジを忘れ次のゲーム中に気付いた時は、そのゲームを終わらせてからエンドを交替する。	✗
⑥ シングルの試合中で、シングルスボールの外側のネットにラケットが当たってしまい失点になった。	✗

知っておきたいルール

問 題	回 答
⑦ ダブルスでタイブレーク中に、レシーブサイドを間違えたら次のレシーブの時にもとにもどす。	✗
⑧ ダブルスの試合は、セットごとに、サーブの順番を変えられる事が出来る。	○
⑨ セルフジャッジの試合では、インプレー中、他のコートからボールが入って来た時、妨害と思ったら選手は誰でもレットをかけられる。	○
⑩ 砂入り人工芝コートの試合で相手の判定に不服の時は、ボールマークを確認しに行って良い。	✗
⑪ ポイント開始後、ポケットのボールを落とし危険だと思い自分でレットをかけポイントをやり直し出来る。	✗
⑫ 怪我で痛めていた足が痛くなった場合、対戦相手に言えばリタイア出来る。	✗

質問①

トスに勝って「そちらが選んで」と言った相手に対して、いいえ、あなたが先に選んで、と言う事が出来る。

質問①

P12

- ◆ コイントスはウォームアップの前にしましょう。
- ◆ トスの勝者はどれか一つを選ぶことができる
 - a. 試合の第1ゲームでサーバーになるかレシーバーになるかを選ぶ。このときトスの敗者はエンドを選ぶ。
 - b. 試合の第1ゲームのエンドを選ぶ。このときトスの敗者はサーバーになるかレシーバーになるかを選ぶ。
 - c. トスの敗者に、サーブ／レシーブの選択、エンド選択のどちらかを先に選ばせる。(オポネントチョイスと言います)
- ◆ トスの敗者は残りの1つを選ばねばなりません。

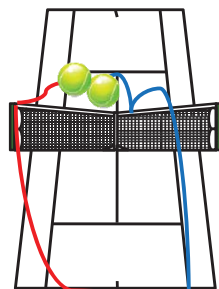
質問②

シングルスステックにあたって入ったサーブは、サービスのレットとしてやり直しになる。

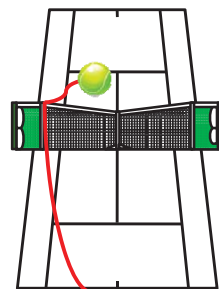
質問②レット？ フォールト？

P15 P16 P18

- ◆ ダブルスの試合でサーブのボールがネットに触れたが相手サービスエリアに入った。レット？ フォールト？
- ◆ ダブルスの試合でサーブのボールがネットポストに当たったが相手サービスエリアに入った。レット？ フォールト？
- ◆ シングルの試合でシングルススティックに当たったが相手サービスエリアに入った。レット？ フォールト？



ダブルスコート



シングルスコート

質問③

P57

- ◆ スタンダード方式（デュース有り）の試合で誤ってノーアド方式でプレーしてしまった。
 - 誤りに気づいたときはゲームは終了してる⇒結果を有効とする
 - 以降のゲームはスタンダード方式（デュース有り）でプレーする。
- ◆ ノーアドの試合で誤ってスタンダード方式（デュース有り）でプレーしてしまった。
 - デュースのときに気づいた⇒ただちに、ノーアドに切り換える。
 - アドバンテージAで気づいたら⇒もう1ポイントプレーする
 - ・ 次にAがとればゲームAで終了
 - ・ 次にBがとればデュースになり、ここでノーアドに切り換える
 - 誤りに気づいたときにゲーム終了していた⇒結果を有効とする

質問③

ノーアドと勘違いしてレシーブサイドを選びゲームになった、そのゲームは成立する。

質問④

サーブの順番を間違えてパートナーと変わる時、ファストサーブのフォルトは、引き継いで変わる。

質問④

P21

規則27 間違いの訂正 C)

自分のサーブで始まったダブルスの試合で、ゲーム3-1 (5ゲーム目) の15-0の時にパートナーがサーブしファーストサーブをフォールトした時にこのゲームは自分のサーブであることに気づいた。



直ちに本来のサーバ(自分)から15-0のセカンドサーブで再開する。

質問⑤

エンドチェンジを忘れ次のゲーム中に気付いた時は、そのゲームを終わらせてからエンドを交替する。

質問⑤

P21

規則27 間違いの訂正 b)

- ① 北側から自分(A)のサーブで始まった試合で、ゲーム3-1 (5ゲーム目) の15-15の時に自分が南側でプレイしていることに気づいた。
- ② 北側から自分(A)のサーブで始まったタイブレーク6-6 (13ポイント目) のファーストサーブがフォールトした時に自分が南側でプレイしていることに気づいた。



- ① 直ちにスコアに応じた正しいエンド(5ゲーム目だから2回エンドチェンジしているはず(北⇒南⇒北))の北側から再開する。

	1	2	3	4	5
北	A			A	A
南		A	A		A



- ② 直ちにスコアに応じた正しいエンド(6-6だから2回エンドチェンジしているはず(北⇒南⇒北))の北側からセカンドサーブで再開する。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
北	A	A	A	A	A	A							A
南							A	A	A	A	A	A	A



質問⑥

シングルの試合中で、シングルスボールの外側のネットにラケットが当たってしまい失点になった。

質問⑥

P17

- ◆ インプレー中に、選手自身、または選手のラケット、着衣または持ち物が、ネット、ネットポストまたはシングルススティック、コード、ストラップ、バンド、または相手コート内に触れた時に失点する。
- ◆ シングルの試合でシングルススティックの外側のネットに触れても失点にはならない。

質問⑦

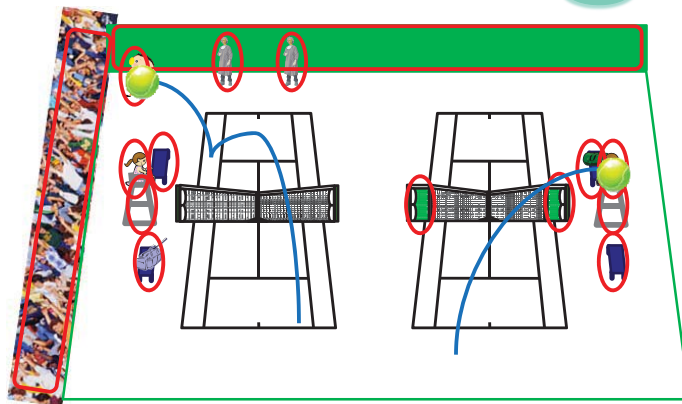
ダブルスでタイブレーク中に、レシーブサイドを間違えたら次のレシーブの時にもとにもどす。

パーマネント・フィクスチャ

P8 P17

- ◆ コートのパーマネント・フィクスチャとは「バックストップ、サイドストップ、観客、観客用のスタンドやシート、コートの周りや上部にあるすべての施設や設備、定められた位置にいるアンパイア、ボールパーソン、シングルススティックの外側のネットポストとネット」のこと。
- ◆ インプレー中のボールが
 - 正しいコート内に弾んだ後、パーマネント・フィクスチャに触れたら⇒打ったプレーヤーの得点
 - 地面に落ちる前に触れたら⇒打ったプレーヤーの失点

P13



質問⑦

P21

規則27 間違いの訂正 e)

- ① 自分がデュースサイドでのレシーブで始まったダブルス試合で、7ゲーム目30-30で自分がアドサイドにいることに気づいた。
- ② 自分がデュースサイドでのレシーブで始まったダブルス試合のタイブレーク中に自分がアドサイドでレシーブしていることに気づいた。



- ① そのゲームは間違ったサイドのままプレーを続け、次のレシーブゲーム(9ゲーム目)に正しいサイドに戻る。
- ② そのタイブレークは間違ったサイドのままプレーを続ける。次のセットのサイドは自由に選び直せる。(タイブレークは1ゲームと考えるから)

質問⑧

ダブルスの試合は、セットごとに、サーブの順番を変えられる事が出来る。

質問⑨

セルフジャッジの試合では、インプレー中、他のコートからボールが入って来た時、妨害と思ったら選手は誰でもレットをかけられる。

質問⑧

P13

- ◆ 規則14 サービスの順序（ダブルス）ABvsCD
 - セットの第1ゲームでサーブするチーム（AB）
 - ⇒ どちらのプレイヤーがサーブするか決める（A）
 - セットの第1ゲームでレシーブするチーム（CD）
 - ⇒ 第2ゲームが始まる前にどちらのプレイヤーがサーブするか決める（C）
 - 第1ゲームでサーブしたチームのパートナーが第3ゲームでサーブ（B）
 - 第2ゲームでサーブしたチームのパートナーが第4ゲームでサーブ（D）
 - この順番はその**セットが終わるまで**続けられる。

質問⑨

P54

P55

- ◆ インプレー中に他のコートからボールが転がってきたときは、レットがプレイヤーの誰でも（ダブルス試合は4人）レットをコールできます。 P61
- ◆ ただし、レットがコールされたときに、すでに打たれ空中にあるボールの行方によってレットが取り消されポイントが成立することがあります。
 - 飛んでいたボールがネットを越えなかったまたはアウトのとき
 - ⇒ 打ったプレイヤーの失点
 - 明らかなウィニングショット、エースのとき
 - ⇒ 打ったプレイヤーの得点

質問⑩

砂入り人工芝コートで相手の判定に不服の時は、ボールマークを確認しに行って良い。

質問⑪

ポイント開始後、ポケットのボールを落とし危険だと思い自分でレットをかけポイントをやり直し出来る。

質問⑩

P36

P60

- ◆ ボールマークチェックはクレイコートでのみ行えます
- ◆ 相手の判定に疑問を持ったらボールマークの確認を要求できます。
- ◆ セルフジャッジの試合のときは必要なら相手コートへ行ってボールマークを見ることができます。
 - 相手と判定が食い違った時⇒レフェリーに最終判断を仰ぐ
 - ボールマークの位置が食い違う時、マークが判定できるほど残っていない時⇒最初のコール(＝相手のコール)が成立する。
- ◆ チェアアンパイアのついた試合では相手コートに行けません。行ってしまうと倫理規定違反(コードバイオレーション)になります。

質問⑪

- ◆ インプレー中にプレーヤーが持ち物(帽子、ボール、サングラス など)を落としたときは P61
 - 落とした本人(チーム)はレットをかけられない
 - 相手選手は妨害と感じたら1回目はレットをかけ、「今後落し物をしたら、その度に失点になります」と注意する
 - ただし、レットがコールされたときに、ボールの行方によってレットが取り消されポイントが成立し、妨害はなかったと判断される場合があります。
 - ・ 飛んでいたボールがネットを越えなかったまたはアウトのとき⇒打ったプレーヤーの失点
 - ・ 明らかなウィニングショット、エースのとき⇒打ったプレーヤーの得点
 - 2回目以降は故意による妨害と判断され失点する

質問⑫

怪我で痛めていた足が痛くなった場合、対戦相手に言えばリタイア出来る。

End

質問⑫

- ◆ ウォームアップ開始後はコート外に出るには、レフェリーやロービングアンパイア(RU)の許可が必要です。 P61
- ◆ 怪我、けいれんなどでこれ以上試合続行ができないときはレフェリーを呼んでください。レフェリーが正当な理由かどうか判断します。 P62
- ◆ トイレに行きたい時も許可が必要です。 P127